糸 田 町 個 別 施 設 計 画 （道路橋）

大熊橋
橋長 62.1m
（中元寺川に架橋）

糸田橋
橋長 63.0m
（中元寺川に架橋）

目　次

１．はじめに
２．個別施設計画（道路橋）の目的について
３．個別施設計画（道路橋）の対象について
４．健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針について
５．補修・架替えに関する基本的な方針について
６．点検、補修、架替え時期について
７．個別施設計画（道路橋）による効果について
８．個別施設計画（道路橋）の意見聴取会について

糸田町

2023年3月

1．はじめに

糸田町が管理する道路橋は、2022年4月1日現在で「54橋」となっています。一般的に橋の更新時期は架設から50～60年程度と言われており、糸田町の道路橋の多くが高度成長期に建設されたことから、10～20年後には多くの道路橋が更新時期を迎え、財政的な課題が生じてくることになります。

そこで、今後増大が見込まれる道路橋の補修や架替えに効率的に対応するため、従来の事後的な補修や架替えから、予防的に小規模な補修を繰り返しながら長持ちさせていく手法へと政策転換することを目的とし、2013年度に策定した「糸田町橋梁長寿命化修繕計画」に対し、2014年に国の方針により5年に1回の近接目視による全橋点検を行い、橋の健全性について4段階（ⅠⅡⅢⅣ）に区分することを全ての道路管理者に義務付けられています。そのため、国の方針に従い「糸田町個別施設計画（道路橋）」を策定しました。

これからは、「糸田町個別施設計画（道路橋）」に基づき維持補修を実施していくことで、道路橋の長寿命化を図るとともに、維持補修費の平準化やライフサイクルコストの縮減が可能となり、長期に渡って道路網の安全性や信頼性を確保することを目指します。

2．個別施設計画（道路橋）の目的について

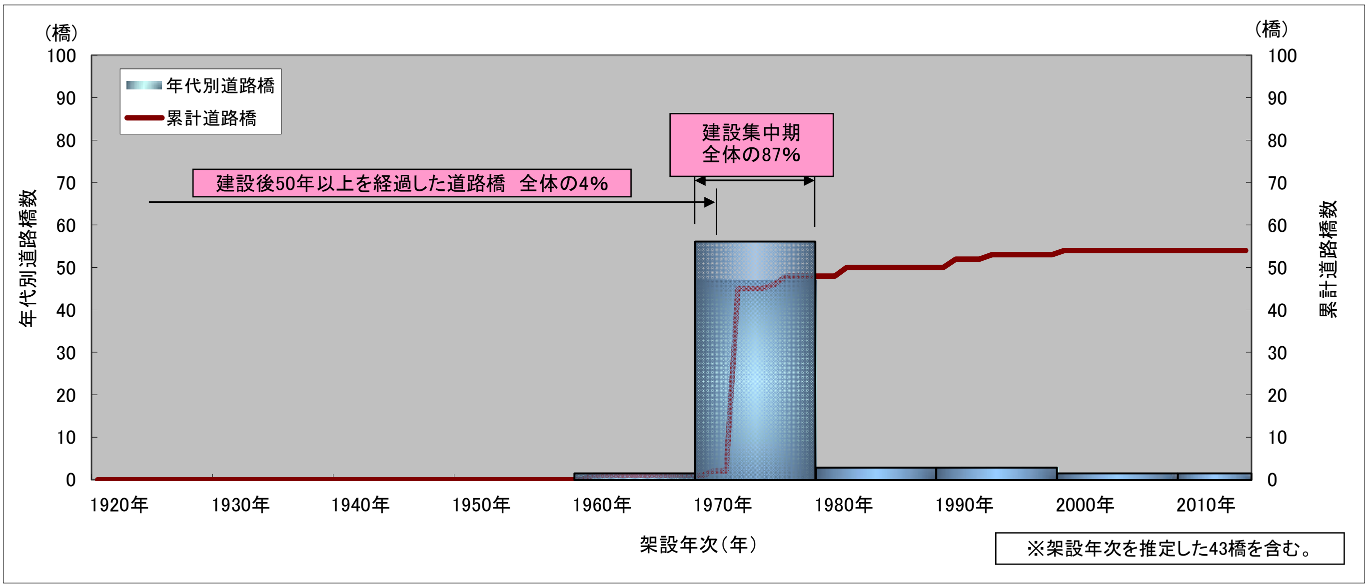
1）背景

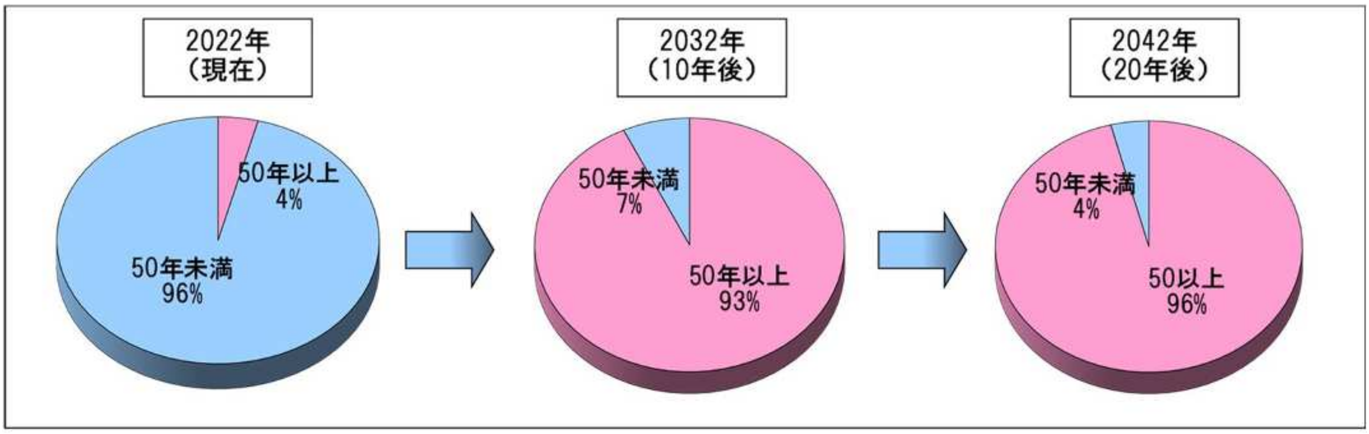
本町の管理する道路橋は、2022年4月1日現在で54橋です。

架設年次を推定した43橋を含む全道路橋54橋において、すでに建設後50年を経過している道路橋は約4%（2橋）を占めています。今後、10年後（2032年）にはこの割合が約93%（50橋）、20年後（2042年）には約96%（52橋）を占め、急速に道路橋の老朽化が進むことが明らかになっています。

このような状況の中、これまでのように著しい損傷が顕在化してから補修や架替えなどを行う事後的な方法（事後保全型）ではコストの増大や道路橋の短命化を招き、安全性や信頼性を確保することが困難となります。

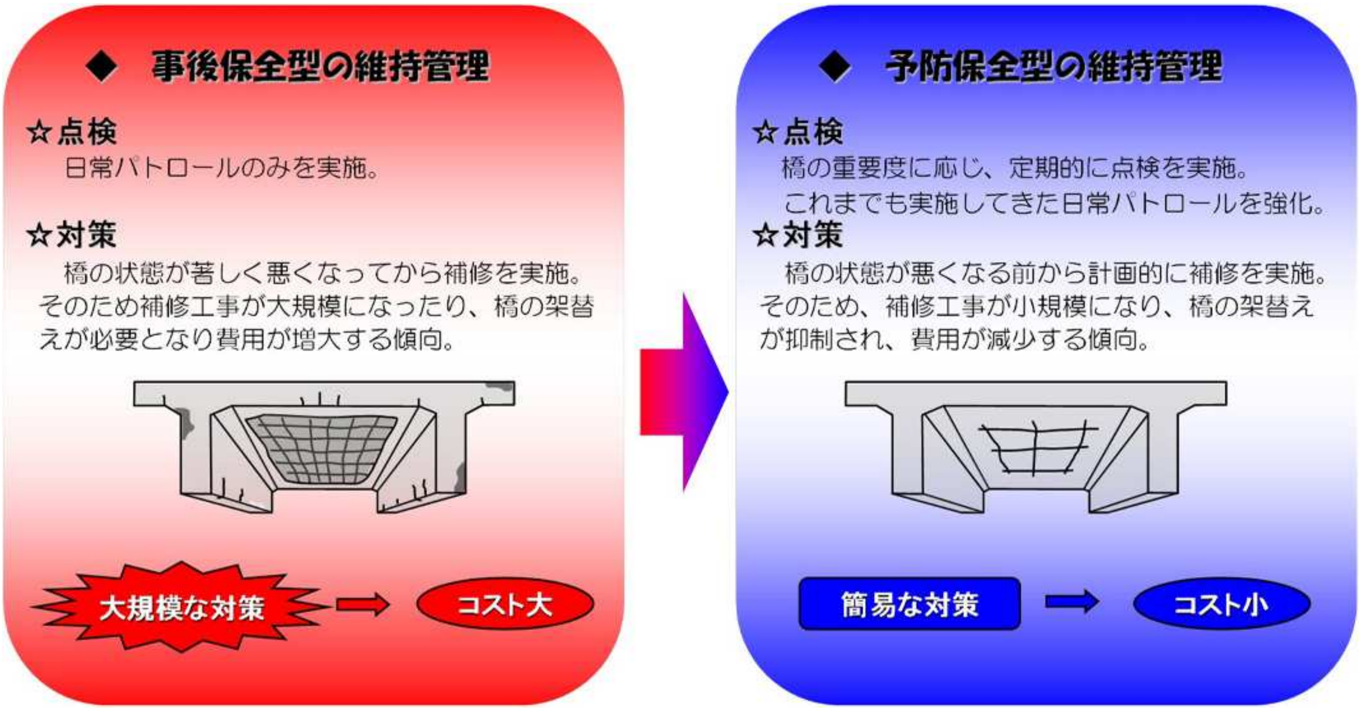
●架設年次の分布





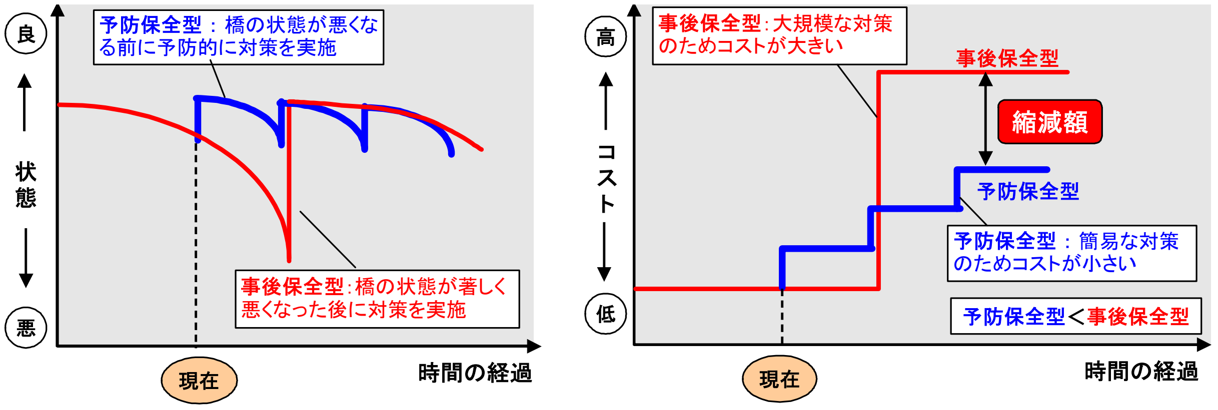
2）目的

個別施設計画（道路橋）は、今後さらに進行する損傷や道路橋の老朽化に対し、定期的に点検を行い、著しい損傷が顕在化する前に計画的に補修（予防保全型）を行うことで、安全・安心を確保し、道路橋の長寿命化と維持管理コストの縮減を図ることを目的としています。



●事後保全型と予防保全型の補修時期及びコストイメージ

「予防保全型（青ライン）」では、「事後保全型（赤ライン）」と比較して、予防的な小規模の対策を繰り返すことで、トータルの維持管理コストを縮減することができます。



3．個別施設計画（道路橋）の対象について

●本町管理数と計画対象数

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理数	8	9	47	64
うち計画の対象数（道路橋）	7	7	40	54
道路橋	7	7	40	54
横断歩道橋	1	2	7	10

対象は、糸田町が管理する橋長2m以上の全ての道路橋を対象とします。

4．健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針について

1）健全性の評価

健全性評価は、点検結果をもとに道路橋の状態を国の方針による4段階の「健全性ランク」によって評価します。

●健全性ランクと評価

項　目	評　価				
健全性ランク	Ⅰ		Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
道路橋の状態	健全な状態	ほとんど健全な状態	少し注意が必要な状態	注意が必要な状態	危険な状態
	良		状態		悪

健全性Ⅰ

健全な状態もしくはほとんど健全な状態

健全性Ⅱ

少し注意が必要な状態

健全性Ⅲ

注意が必要な状態

健全性Ⅳ

危険な状態

2）健全性による対策区分の設定

健全性ランクに応じて、対策方法（監視、補修、架替え）を設定します。
なお、健全性は4段階で診断する全国的に統一された判定基準です。

●健全性と対策区分

健全性		道路橋定期点検要領（H31.2）国土交通省		対　策	損傷程度に基づき判定する対策区分
区　分		状　態	健全性の考え方	区　分	対策の考え方
Ⅰ	健　全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	監視や対策を行う必要のない状態。	定期点検	損傷が認められないか、損傷が軽微である状態であるため、５年に１回の定期点検のみを実施。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態。	監　視	橋の損傷状況や環境条件などを踏まえ、対策を選定し実施。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	早期に監視や対策を行う必要がある状態。	補　修	速やかに補修を実施。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	緊急に対策を行う必要がある状態。	架　替	緊急対応（緊急補修または架替）を実施。

3）健全性の把握に関する基本的な方針

道路橋の長寿命化における健全性は、定期的な点検により把握します。その記録を蓄積することで経時的な変化を把握することができ、劣化予測が可能となるため、継続的に点検を行います。なお、定期点検は、橋の傷み具合に応じた頻度で実施します。

また、定期点検とは別に日常的なパトロールや災害時の緊急点検を行います。

●点検種類と目的及び頻度

種　類	目　的	頻　度
日常点検	道路パトロールでの状況把握	随時
定期点検	橋の状況把握	5年に1回
詳細調査	損傷の詳細点検	必要に応じて
緊急点検	異常な損傷の把握	災害時など 必要に応じて

4）対策の優先順位の考え方

対策が必要と判断された橋の優先順位は、状態が悪い橋（損傷が多い）、重要度が高い道路に架かる橋などを考慮して設定します。

① 健全性が低い橋を優先させます。
（健全性[Ⅳ] → [Ⅲ] → [Ⅱ] → [Ⅰ]）

② 社会的影響度の大きい橋を優先させます。
（社会的影響度「大の橋」→「中の橋」→「小の橋」）

●社会的影響度について

社会的影響度		
大	中	小
①跨道橋 ②跨線橋	①道路種別が1級or2級の町道 ②橋長L≧15m程度の橋 ③迂回路無し（橋長L≧5m程度） ④「社会的影響度大の橋」以外で第三者被害の影響が考えられる橋 ・桁下を駐輪場や駐車場及び公園等に利用	左記以外

5）日常的な維持管理に関する基本的な方針

本町では、比較的容易に対応が可能なもの（路面上の堆積土砂撤去など）は、日常の維持作業で措置するものとします。

●路肩堆積土砂の撤去

5．補修・架替えに関する基本的な方針について

個別施設計画（道路橋）による効果を継続的に発揮するため、以下の方針を設定します。

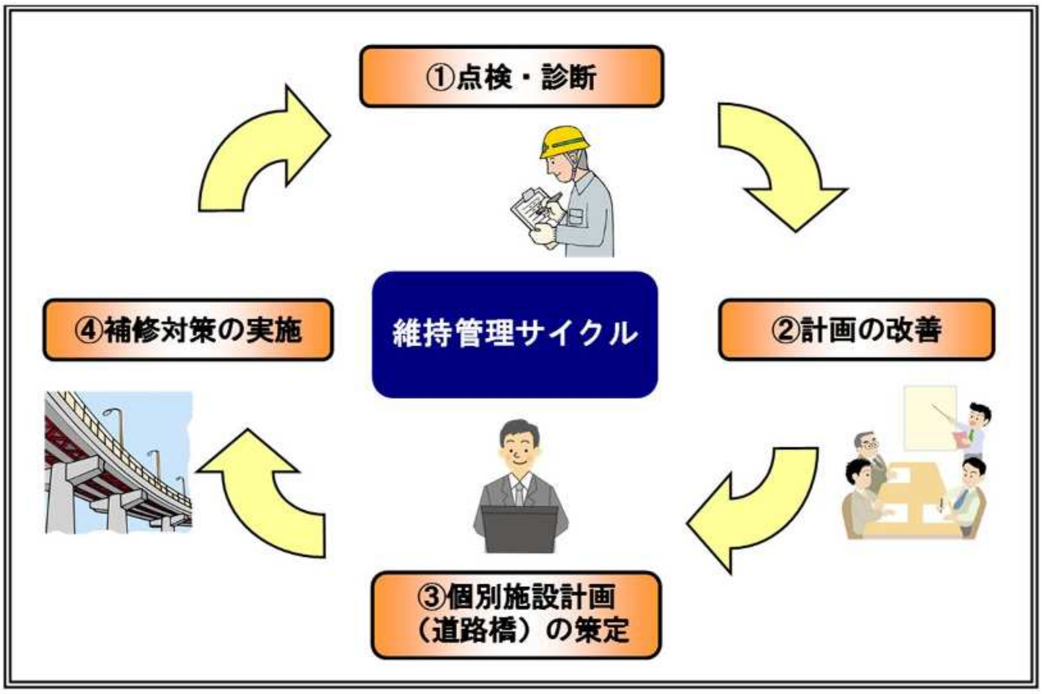
(1)　点検の実施

(2)　維持管理サイクルの運用

維持管理サイクルを運用することにより、点検で道路橋の状態を把握し、予防的な補修や計画に基づいた架替えにより、維持管理費の軽減を目指します。

また、実施した補修の効果や点検結果を踏まえ、個別施設計画（道路橋）の検証を行い、効果的な計画となるように適宜見直しを行います。

●維持管理サイクル



1巡目点検（H26～H30）において、修繕等措置が必要とされる健全性【Ⅲ】に該当する道路橋はありませんでした。

6．点検、補修、架替え時期について

今回の計画更新では、2019年度（令和元年度）から2022年度（令和4年度）までに実施した点検結果を踏まえ、糸田町が管理する全ての道路橋について5年間の修繕計画を策定しました。

その結果、監視が必要となる道路橋が15橋となりました。なお、今回の修繕計画では、補修が必要となる道路橋は計画されていません。

7．個別施設計画（道路橋）による効果について

1）老朽化対策における基本方針

個別施設計画（道路橋）では、橋の傷みが進む前に計画的な点検や補修を行うこと（予防保全型の維持管理）で、道路橋の維持管理に掛かる費用を抑えることができるだけでなく、道路交通の安心・安全性も確保できます。また、管理する道路橋の集約化・撤去や新技術を活用することで、維持管理費の縮減を行います。

計画期間は令和9年度までの5年間とし、今後新たな点検結果が得られた時点で計画の見直し、更新を行います。

2）集約化・撤去

橋梁架橋状況及び利用状況等を踏まえ、集約化・撤去対象候補を抽出・選定し、利用者・地元住民等との合意形成を図ります。

糸田町では、令和9年度までに管理する54橋のうち1橋程度の撤去を目指します。

3）新技術活用の検討

計画的に実施する定期点検や補修工事を実施する道路橋については、国土交通省「新技術情報提供システム（NETIS）」などを活用し、事業の効率化や費用の縮減などの効果が見込まれる新技術工法の活用を検討します。

糸田町では、令和9年度までに管理する54橋のうち1橋の補修工事において、新技術工法を活用することを目標とします。

4）費用縮減

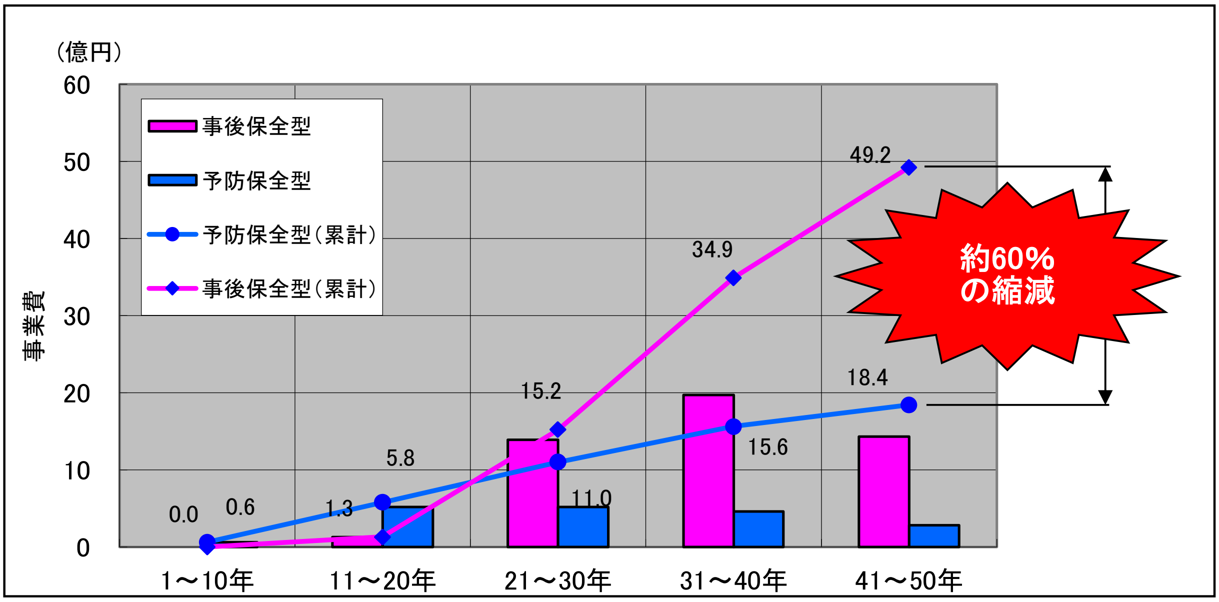
道路橋の集約化・撤去などに伴い、修繕及び定期点検にかかる費用として、令和9年度までに約1500万円の費用縮減を目指します。

また、新技術工法の活用に伴い、従来技術による補修工法と比較して、令和9年度までに約150万円の費用縮減を目指します。

5）個別施設計画（道路橋）による効果

個別施設計画（道路橋）を策定する54橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型が49.2億円に対し、個別施設計画（道路橋）の実施による予防保全型が18.4億円となり、コスト縮減効果は30.8億円（約60%の縮減）となります。予防的補修を行うことで長期に渡る交通規制が減少し、緊急輸送路や経済的な交通活動が確保されます。

●事後保全型と予防保全型の事業費比較



8．個別施設計画（道路橋）の意見聴取会について

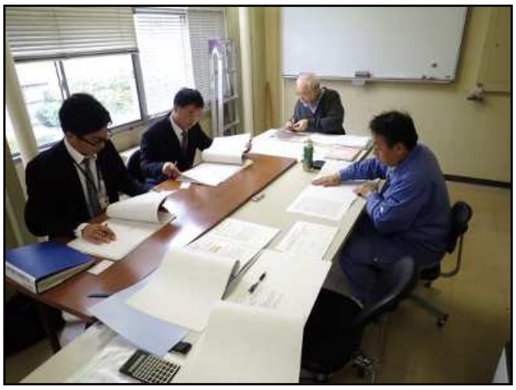
本計画は、2013年度の計画策定後、道路法改定に伴う近接目視点検を行い、その結果に基づき橋の専門知識を有する者と数回の意見聴取を行いながら策定しています。

1）計画策定担当部署

糸田町役場　土木課

TEL：0947-26-1242（直通）

FAX：0947-26-1651（代表）



2）意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

福岡大学　工学部社会デザイン工学科准教授

坂田　力

糸田町（道路橋54橋） 次回点検時期および修繕内容・時期（1/1）

【2023年3月】

番号	橋梁管理番号	橋梁名	道路種別	路線名	橋種	橋長（m）	全幅員（m）	架設年次（西暦）	社会的影響度	健全性	最新点検時期	対策内容	補修内容（主な措置内容）	個別施設計画（橋梁）（●：定期点検 ◎：補修設計 ○：補修工事 ×：架替工事）				
														令和5年（2023）	令和6年（2024）	令和7年（2025）	令和8年（2026）	令和9年（2027）
1	0062	浮殿橋	その他	修理田橋・宮山橋線	RC橋	19.5	2.2	(1973)	中	Ⅱ	2019	修繕	断面修復工		●	◎	○	
2	0042	土取橋	その他	金村・前田線	RC橋	19.2	3.5	(1971)	中	Ⅱ	2019	修繕	断面修復工		●	◎		○
3	0029	馬渡橋	その他	七十石・谷川線	PC橋	21.7	7.5	1994	中	Ⅱ	2022	監視	修繕予定					●
4	0021	宮床団地二号橋	その他	宮床・山の神線	RC橋	4.5	6.7	(1973)	小	Ⅱ	2019	監視			●			
5	0024	自由ヶ丘一号橋	その他	自由ヶ丘9号線	RC橋	3.0	4.4	(1973)	小	Ⅱ	2020	監視				●		
6	0031	三角一号橋	その他	竹ヶ下・吉原線	RC橋	2.0	4.6	(1973)	小	Ⅱ	2021	監視					●	
7	0049	水落二号橋	その他	水落線	RC橋+石橋	2.3	3.0	(1973)	小	Ⅱ	2021	監視					●	
8	0050	水落一号橋	その他	水落線	RC橋+石橋	5.5	5.7	(1973)	小	Ⅱ	2021	監視					●	
9	0005	烏尾橋	1級	烏トマリ・下迫田線	PC橋	9.5	8.6	1961	中	Ⅱ	2021	監視					●	
10	0040	朝日橋	その他	新町・朝日橋線	PC橋	23.7	6.0	1977	中	Ⅱ	2019	監視			●			
11	0010	小野田橋	2級	真岡・戸石1号線	PC橋	10.4	6.0	(1973)	中	Ⅱ	2019	監視			●			
12	0056	雑餉塚橋	1級	上糸田・鼠ヶ池線	RC橋	3.3	7.7	(1973)	中	Ⅱ	2019	監視			●			
13	0009	新橋	1級	真岡・谷川線	RC橋	4.0	9.1	(1973)	中	Ⅱ	2019	監視			●			
14	0019	松山橋	その他	松山跨線橋2号線	PC橋	12.8	9.0	1977	大	Ⅱ	2020	監視				●		
15	0039	砥石橋	その他	宮山・烏尾線	PC橋	25.3	8.0	1982	大	Ⅱ	2020	監視				●		
16	0013	神田二号橋	その他	堀川・神田町線	RC橋	2.3	7.5	(1973)	小	Ⅰ	2019	監視			●			
17	0017	松山四号橋	その他	松山2号線	RC橋	2.7	7.5	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
18	0015	神田一号橋	その他	久保田2号線	RC橋	2.4	7.2	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
19	0034	下糸田二号橋	その他	下糸田打越線	RC橋	2.5	6.9	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
20	0041	山の谷橋	その他	西部・戸石1号線	RC橋	5.5	3.6	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
21	0047	鼠ヶ池村池橋	その他	鼠ヶ池3号線	RC橋	2.7	4.6	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
22	0052	鼠ヶ丘橋	その他	鼠ヶ池4号線	RC橋	2.7	7.0	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
23	0058	原二号橋	その他	原団地・真光寺公園線	RC橋	2.2	9.5	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
24	0046	鼠ヶ池橋	その他	国道・鼠ヶ池線	PC橋	9.2	6.7	1976	小	Ⅰ	2021	監視					●	
25	0033	福丸一号橋	その他	打越3条通り2号線	RC橋	2.7	4.8	(1973)	小	Ⅰ	2021	監視					●	
26	0043	無田々一号橋	その他	古賀ノ前・無田々線	RC橋	2.1	3.0	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
27	0036	上溝一号橋	その他	辻畑2号線	RC橋	2.7	4.6	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
28	0044	無田々二号橋	その他	古賀ノ前・無田々線	RC橋	3.6	3.5	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●
29	0057	原一号橋	その他	原団地・真光寺公園線	RC橋	2.1	7.4	(1973)	小	Ⅰ	2021	監視					●	
30	0014	神田三号橋	その他	堀川・神田町線	RC橋	2.4	8.3	(1973)	小	Ⅰ	2021	監視					●	
31	0023	自由ヶ丘二号橋	その他	自由ヶ丘8号線	RC橋	3.0	4.4	(1973)	小	Ⅰ	2021	監視					●	
32	0025	宮床団地一号橋	その他	自動車学校線	RC橋	3.9	3.6	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
33	0045	木の実橋	その他	出ヶ浦・穴ノ前線	RC橋	2.2	6.9	(1973)	小	Ⅰ	2020	監視				●		
34	0053	古賀の前四号橋	その他	梅木4号線	RC橋	3.5	7.7	(1973)	小	Ⅰ	2021	監視					●	
35	0051	谷川橋	その他	谷川1号線	RC橋	3.6	5.9	(1973)	小	Ⅰ	2021	監視					●	
36	0008	前田橋	2級	中糸田・出ヶ浦線	鋼橋	18.4	4.6	(1973)	中	Ⅰ	2019	監視			●			
37	0038	烏尾橋	その他	宮山・烏尾線	PC橋	21.5	8.0	1982	中	Ⅰ	2019	監視			●			
38	0001	大熊橋	1級	稗田・宮山線	PC橋	62.1	9.2	1991	中	Ⅰ	2019	監視			●			
39	0011	出ヶ浦二号橋	2級	梅木・出ヶ浦線	RC橋	3.0	13.3	(1973)	中	Ⅰ	2019	監視			●			
40	0055	浦ノ谷橋	1級	上糸田・鼠ヶ池線	RC橋	2.0	19.5	(1973)	中	Ⅰ	2019	監視			●			
41	0006	松山三号橋	2級	大熊橋・松山線	RC橋	3.3	10.6	(1973)	中	Ⅰ	2019	監視			●			
42	0012	穴ノ前橋	2級	出ヶ浦・鼠ヶ池線	RC橋	2.2	8.0	(1973)	中	Ⅰ	2019	監視			●			
43	0004	泌橋	1級	上糸田・鼠ヶ池線	PC橋	15.6	6.8	1973	中	Ⅰ	2020	監視				●		
44	0037	上溝二号橋	その他	下古賀線	RC橋	2.7	4.5	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●
45	0060	五郎丸橋	その他	貴船団地1号線	RC橋	2.2	3.9	(1973)	小	Ⅰ	2021	監視					●	
46	0007	糸田橋	2級	打越・下糸田線	PC橋	63.0	11.2	2000	中	Ⅰ	2021	監視					●	
47	0003	宮谷橋	1級	稗田・宮山線	PC橋	21.8	7.2	1991	中	Ⅰ	2021	監視					●	
48	0059	大苗代橋	2級	中糸田・出ヶ浦線	RC橋	2.0	5.9	(1973)	中	Ⅰ	2021	監視					●	
49	0026	宮床三号橋	その他	貴船団地1号線	RC橋	2.8	25.9	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●
50	0061	佛熊橋	その他	神田町・松山線	RC橋	2.0	5.6	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●
51	0030	松ヶ崎橋	その他	竹ヶ下・吉原線	RC橋	2.1	4.5	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●
52	0035	下糸田一号橋	その他	井ノ元・下古賀線	RC橋	5.4	3.7	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●
53	0032	三角二号橋	その他	竹ヶ下・吉原線	RC橋	2.0	4.6	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●
54	0016	松山二号橋	その他	松山1号線	RC橋	2.0	3.8	(1973)	小	Ⅰ	2022	監視						●